

【23 期生近況報告】

TOEIC に向けた学習と教職課程の履修注力

都内の私立大学2年生になった女子学生

奨学金のおかげで、進学費用の負担軽減につながり、大学の学習に専念することができました。

勉強面では、TOEIC に向けた学習と教職課程の履修の2点に注力しました。TOEIC の学習では、入学時に取得したスコアに不安を抱いたことから大学のチューター制度に参加し、継続的に学習を続けていくことで最終的に 200 点のスコアアップに成功しました。また、教職課程の履修では、教育に関する知識を深めるとともに、「人に教える」行為の難しさを再認識しました。今年度は限られた科目のみの履修となってしまったため、来年度は知識の幅を広げるためにさらに多くの科目を履修したいと考えています。

課外活動では、ボランティアやオンラインでの留学生との交流を行いました。ボランティアでは、教職課程で学んだことを活かす経験を得たく、英語の学童教室でのボランティアを行いました。このボランティアを通し、自らの知識を生かすだけでなく、子供たちに工作や外遊びをはじめとした多様な方法で英語を教える楽しさも得られました。さらに留学生との交流ではハワイに住む大学生と、英語や日本語を教え合うことを目的に定期的にオンラインセッションを行いました。オンラインで多言語を話すことの難しさを覚えつつも、コロナ禍ではなかなか得られない貴重な体験をすることができました。

現在、春休みを使って TOEIC の更なるスコアアップのための学習に加え、より専門的な文章にも英語で対応できるように TOEFL の試験勉強も行なっています。加えて、前述の通り来年度には教職課程の履修科目を増やす予定であるため、英語試験対策と併せてそれらの予習にも注力しています。

時間に余裕を持って生活を送れた

関西の私立短期大学2年生になった男子学生

振り返ってみると、この1年間は学業、私生活ともに励めたのではないかと思います。学業においては、将来、資格を取得するために必要な科目を中心に履修し、学んできました。

1 年生の後期は、新型コロナウイルスの影響もあり、授業が対面になったり、ZOOM でのオンライン授業になったり、少し困惑することもありましたが、しつ

かり出席し、学びを深めることができました。後期の授業で印象に残っているのは、社会福祉調査論です。この授業は今まで習ってきた授業より理解することが難しかったのですが、理解できればとても関心が持てる内容だったので、特に印象に残っています。さらに後期は定期試験もありました。試験前は学校に残って友人と一緒に勉強して、そこでわからない箇所があれば教えあったり、就寝直前まで勉強したりと、自分に出来る努力をしていました。その甲斐もあって、試験ではしっかりと結果がついてきました。

私生活では、1人暮らしを始めて1年が経とうとしていますが、時間に余裕を持って生活を送れるようになってきたと思います。半年程前は、学校に行って、その後すぐにアルバイトに行くと、余裕のない生活を送っていて、自分の時間がほとんどありませんでしたが、アルバイトの量や時間を調節し、自分の時間を少しでも作るようにしてからは、体調を崩すことがほとんどなくなり、毎日を楽しんで送れています。さらに自炊する生活を心がけています。新しい料理にも挑戦しレパートリーも日に日に増えてきています。

2年生になると1年生の時と比べて、授業数も増え、実習も始まります。忙しくなると思いますが、将来の夢、自分のためになるように頑張っていきたいと思えます。それに伴って、私生活が疎かにならないように気をつけつつ、体調管理もしっかりとしていきたいと思えます。

目標の資格取得 一つにとどまり反省

関東の工科専門学校2年生になった男子学生

今年1年、新型コロナウイルスが猛威を振るい、その約半分がオンライン授業となりました。3学期においては一度も登校することなく授業が終了してしまいました。そのため当初の目標に掲げていた資格取得に関して、東京受験の資格が中止になったこともあり、1つのみの取得となってしまいました。さらに、私自身7月に胃潰瘍を患ってしまい2週間ほどお休みをいただく結果になってしまいました。

当初の目標に及ばない結果となってしまったことに関して大変反省しています。来年は一層体調管理、将来設計を綿密にしていきたいと考えております。4月にc a d検定、5月に施工管理技士、10月に宅建士の資格の受験が予定されており取得を目指していきます。さらに、2年後の就職活動に向け実用的な資格にも挑戦していきたいと考えております。成績は、出席が振るわなかったこともあり、可の評価になってしまったものもありますが、一応全単位取得いたしました。

コロナ感染したが、移乗介護の実技試験に無事合格

首都圏の福祉専門学校2年生になった女子学生

2月に行われた学年末試験の日にコロナにかかりましたが、追試験を受けて無事に受かることができました。同月に行われた移乗介護の実技試験では、障害者施設でアルバイトをさせて頂いていることもあり合格者が数少ない試験を乗り越えることができました。実技試験は、クラスの全体が苦戦しており、友人に教え、教わりながら、放課後の時間を使い練習をしています。

5月9日からは、1か月間、特別養護老人ホームで実習に行きます。介護過程を行うために情報収集をして、担当利用者を決定し、レクリエーションを実施します。実習まで1か月を切っており、支援方法や根拠を勉強し直して実習に向けて日々準備をしています。私自身、新しい環境で新しいことを学ぶことはとても貴重な経験であり、楽しみでもあります。

卒業まであと1年になりましたが、介護福祉士になるために、実習、アルバイト、ボランティア活動を継続して頑張りたいと思います。専門学校で学んだ知識と専門スキルを活かしながら、今月末から始まる就職活動に励みたいと思います。

小学2年生から目指している介護福祉士になりたい気持ちは変わりません。高齢者、障害者の方関係なく支援ができる人材になりたいと日々強く思います。介護福祉士になるための、専門学校を卒業するまでのあと1年間、貴財団のサポートやご支援がとても必要です。まだまだ、未熟な部分もあり、成長できる部分が沢山あるのでこれからも勉学に励んで参ります。

アルバイトで稼いだお金 日々の感謝で少し母に

都内の栄養専門学校2年生になった女子学生

学校は後期も前期同様、各週で実習があり、オンラインで出来る授業はオンラインでして出来ない授業は、学校に行って対面で受けています。前期と少し違うところは、対面で行う授業で初めてもう一つのクラスの人と授業を行っていることです。ですが、前期を共に生活していないことが原因か、少し気まずく話さないまま、1年生が終わってしまいました。2月から始まった春休みももう終わろうとしているところです。春休みは、学校で出された課題とアルバイトをする日々でした。課題は、冬季オリンピック・パラリンピックについてと、その競技特性から考察される栄養素をまとめるものや、決められた回数の中で運動する日を決めて、どんな内容の運動をしたか、何分したか等を記入して、その決められた回数の中で健康とどう関連付けられるかを作文にまとめるなど、たくさん

ありました。まだ少し終わってないのでちゃんと終わらせようと思っています。

昨年5月から始めたアルバイトを今も継続しています。稼いだお金は母親に日々の感謝として毎月少しですが、渡しています。残りは、趣味や日用品に使っています。今のところ、貯金があまり出来ていないので、これから少しずつでも貯金出来るように頑張りたいと思っています。以前は、他のアルバイトの人よりも早く退勤していましたが、8月末に施設を退所してから、最後まで働くことができ、今までの申し訳なさを仕事で返せていけているので良かったと思います。また、アルバイトの仲間やパートの方、社員さんと話す機会も以前より多くなり、仕事の話から世間話、趣味の話などたくさん出来てとても嬉しいです。最近は頼られることも増え、土日などの休日には長時間働いたり、後輩に仕事を教えたりしています。

※2人の女子学生が通学していた学校を中退するなどしました。